

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		平成 30 年度 ~ 平成 32 年度				
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容				
	30	照明器具を省エネタイプ (HF, LED灯) に更新 空調設備室外機洗浄 スチームトラップの計画的交換				
	31	業務用フリーザーの計画的な更新 冷水システム (ターボ冷凍機、吸収式冷凍機) の更新 空調設備室外機洗浄				
	32	業務用フリーザーの計画的な更新 冷水システム (ターボ冷凍機、吸収式冷凍機) の更新 空調設備室外機洗浄				
温室効果ガスの吸収等	区 分			目標年度 (平成 32 年度) 二酸化炭素換算 (t)		
	<input type="checkbox"/>	森林の整備等		t-CO ₂		
	<input type="checkbox"/>	経済的手法の活用		t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入		t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入		t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入		t-CO ₂		
		国内クレジットの購入		t-CO ₂		
		J-クレジットの購入		t-CO ₂		
	合 計			① t-CO ₂		
温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	区 分	基準年度 (平成 29 年度)		目標年度 (平成 32 年度)		対基準年度 (%)
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 20,828 t-CO ₂		(二酸化炭素換算 (t))③ 31,158 t-CO ₂		149.6
	<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 20,828 t-CO ₂		(二酸化炭素換算 (t))③-① 31,158 t-CO ₂		149.6
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出 量 A/B	0.465 t-CO ₂ /m ²		0.451 t-CO ₂ /m ²		97.0
	温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B	44,826 m ² (補正延床面積)		69,087 m ² (補正延床面積)		154.1
目標設定に関する説明	前提条件として電気事業者における排出係数の変化は計画効果に見込まない。温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項欄に記載の項目をはじめ、各種合理化案件の推進により、基準年度に対して3%以上、原単位排出量の低減を行う。					
特記事項						

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する口にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する口にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量 A/B」を選択した場合においても「差引排出量 A」の値は記入すること。
- 「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量 (原単位排出量) を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑制等に関する削減目標を設定したのかを記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。